



松翠保育園 9月 給食だより



9月に入ってもまだまだ夏の暑さが続いています。それでも、虫の声の変化や朝夕の涼しさに秋が近づいていることを感じるできるようになりました。

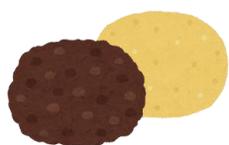
給食のメニューも夏から秋に移り変わり、秋の食材もちらほらと登場します。夏の名残（旬の終わり）と秋のはしり（旬の始まり）を楽しみながら、季節の移り変わりを感じてみるのもいいものですね。

お彼岸

昼と夜の長さがほぼ同じになる春分の日・秋分の日を中心にその前後3日ずつをあわせた7日間をそれぞれ「春の彼岸」「秋の彼岸」といいます。

「彼岸」とは仏の世界（あの世）のことです。秋分の日には昼夜の長さが同じになることからあの世とこの世の距離が最も近くなり、彼岸にいるご先祖様に思いが通じやすくなると考えられています。

故人の好きだったものをお供えに、家族でお墓参りにでかけてみてはいかがでしょうか。



お彼岸の定番「おはぎ」

秋は秋の花「はぎ」にちなんで「おはぎ」、春は春の花にちなんで「ぼたもち」と呼びます

SDGs では持続可能な社会の実現に向けた17の目標が掲げられています。
そのうち、毎日の食事から考えることができそうな2つの目標を取り上げます。



世界の10人に1人が今日食べる
ものがありません。



世界で約20億人分の食品が
捨てられています。

世界で生産されている食品の約40%（年間25億トン）が捨てられています。
一方で8億人が飢餓状態にあり、健康的な食事が得られない人は31億人いるとい
われています。

日本でも、食品廃棄の量は年間522万トン、毎日国民ひとりあたりお茶碗1杯
分の食品を捨てている計算になります。

「もったいない」から考えよう！

2004年に環境分野初のノーベル平和賞を受賞した環境保護活動家のワンガリ・マー
タイさんは日本の「もったいない」を環境保護の合言葉として提唱しました。

「MOTTAINAI」には「ごみの削減」「再利用」「再資源化」を一言で表すだけでな
く、地球資源に対する尊敬の念が込められた言葉として深く感銘を受けたそうです。

食
べる
分
だ
け
お
皿
に
と
る
よ

ご飯の一粒一粒も
大事に食べよう



残
っ
た
料
理
は
明
日
リ
メ
イ
ク
し
て
美
味
し
く
食
べ
よ
う

その他に、毎日の食事から取り組むことができる資源に関する目標です。
子ども達の豊かな未来のために何ができるでしょうか。

